

第2節 地域や家庭における環境教育や環境活動の促進

1 地域や家庭における環境教育や環境活動の促進【環境政策課】

(1) 環境アドバイザー制度^{*1}

「美しい福井の環境を県民の手で守り育てる」ことを目的に、平成6年6月から、環境アドバイザー制度を導入しています。

この制度は、地域や学校、公民館、企業などが実施する環境問題に関する学習会等へ環境アドバイザーとして講師を派遣するもので、現在90名（令和2年1月末現在）の環境に関する専門家が登録されています。

学習会等の内容は、環境問題やリサイクル、省エネ、自然保護などの講座や山や海での自然体験などがあり、皆さんに楽しく環境について学んでいただいています。

この制度により、県民の環境問題への関心や環境保全に対する取組みの意識が高まっています。

(2) こどもエコクラブの応援

「こどもエコクラブ」とは、環境省が、子どもたちの主体的な環境学習や実践活動を支援している環境活動のクラブです。2人以上の幼児から高校生までの子どもと、活動を支える1人以上の大人（サポーター）でクラブを登録することができ、学校のクラスと担任の先生、家族単位、町内の子ども会など、気軽にクラブを作ることができます。令和元年12月現在で32クラブ1,488人が登録しており、様々な活動を行っています。

また、全国事務局では、こどもエコクラブを対象とした壁新聞コンクールを毎年行っています。平成30年度は越前市坂口エコメイトが「ふるさとの自然を守ろう～里山けいび隊～」についてまとめ、応募しました。

なお、こどもエコクラブの本県事務局を、環境ふくい推進協議会（後述）が担っており、各クラブの活動に対し、環境に関する講師派遣を行うほか、上記コンクールに対する支援をはじめ、こどもエコクラブ活動にかかる助成を行っています。

表 5-2-1 環境アドバイザー派遣実績

	平成30年度	令和元年度
派遣人数	43人	117人
受講者数	1,690人	3,276人

（注）令和元年度は令和2年1月末時点



環境アドバイザーによる学習会



越前市坂口エコメイトが作成した壁新聞（平成30年度）

^{*1} 環境アドバイザー制度：環境保全についての有識者や環境保全活動の実践者を「環境アドバイザー」に登録し、公民館、各種団体や学校等が主催する環境問題に関する学習会、講演会に講師として紹介、派遣する制度です。

◆第2部 分野別施策の実施状況

(3) 環境美化運動の促進

①クリーンアップふくい大作戦【環境政策課】

地域の環境保全に関する県民意識の啓発を図ることを目的として、平成4年度から、県内一斉に住民が主体となって美化活動を行う「クリーンアップふくい大作戦」を実施しています。

平成17年度からは、県内全域にまたがる環境美化活動の強化週間を季節ごとに年4回設け、市町は自治会など一体となって地域ぐるみの美化活動を実施しています。

<令和元年度実施状況>

○統一行動期間

令和元年 6月2日～9日 環境月間
9月1日～30日 クリーンアップ強調月間
12月1日～8日 不法投棄等防止啓発強調月間
令和2年 3月1日～8日 雪どけ後

○キャッチフレーズ

「生かそう 小さな汗 私たちの環境に」

○実施内容

- ・市町が設定した拠点地区等における美化活動
- ・民間団体や企業での、それぞれの団体活動を活かした特色ある美化活動

○参加人数 99,486人（令和元年4～12月末現在）
107,855人（平成30年度）

○県の取組み

- ・自然公園内の環境美化活動等の支援
- ・河川の清掃、草刈り、植栽等を行う活動団体への支援
- ・海面浮遊ごみを回収する海面環境保全事業
- ・クリーンウォーキングの実施（令和元年度 福井市内寺社仏閣周辺）
- ・スポーツGOMI拾い大会の実施（令和元年度 敦賀大会、鯖江大会）



クリーンウォーキングの様子（福井市神明神社）

②自然公園の美化【自然環境課】

自然公園美化思想の一層の普及を図るため、環境省では8月の第1日曜日を「自然公園クリーンデー」として位置付け、全国の自然公園を対象とした大規模な美化清掃活動を実施しています。

実施にあたっては、関係市町その他の団体との連携のもと、地域の一斉清掃などを行っています。

③河川環境美化、河川愛護月間【河川課】

河川環境美化については、地域住民等と共働で「川守」推進事業を展開し、良好な河川環境の創出に努めています。

また、毎年7月の河川愛護月間には、河川愛護のパネル展を実施し、河川愛護に関する意識の啓発を行っています。

(4) 環境教育・学習の場

県の自然保護センターや試験研究機関では、環境に関する展示や情報の提供、自然観察会等の学習機会の提供を行っています。

表 5-2-2 県の主な環境教育・学習施設

施設名	概要
自然保護センター (大野市南六呂師)	・県内の自然を紹介する展示 ・プラネタリウム、天体観測施設 ・自然観察会等の実施
海浜自然センター (若狭町世久見)	・ふれあい水槽、若狭の海湖(うみ)などを紹介する展示 ・自然体験講座の開催
里山里海湖研究所 自然観察棟 (若狭町鳥浜)	・野鳥やヒシ等の自然観察ガイド ・簡単な工作体験や里山里海湖に関する相談受付
衛生環境研究センター (福井市原目町)	・環境情報コーナーでの環境関連図書、ビデオ等の資料の提供 ・見学者の受入れ ・環境科学体験教室や夏休み衛生環境教室の実施
総合グリーンセンター (坂井市丸岡町楽間)	・緑化推進のための樹木や花の見本園・緑や木とふれあい、遊び学べる施設 ・緑と花に関する講座の開催や相談受付
内水面総合センター (福井市中ノ郷町)	・河川や淡水魚に関することなどの展示

(5) 若手環境教育リーダー育成事業【環境政策課】

県内の大学生・短大生を対象に、次世代の環境教育を担う若手リーダーの育成をねらいとした「若手環境教育リーダー育成事業」を実施しています。県内大学、短大生の団体が小中学生に向けて企画・実施する自然体験や省エネ活動など、環境教育に関する体験プログラムを支援しています。

令和元年度は、5つの団体のプログラムを支援し、72名の学生が参加しました。

全プログラム終了後、そこで得た成果や課題をまとめ、成果報告会を行い、企画に関するアドバイスをもらったり、他団体の報告を参考にしたり、次へとつながる場となりました。

今後も、ひとりでも多くの環境教育リーダーを育成できるよう努めていきます。

表 5-2-3 採択グループ一覧（令和元年度）

団体名	活動内容
光エコキャラバン隊	・海岸の漂着ごみ清掃、海の環境とマイクロプラスチックについての講義 ・UV レジンアクセサリー作りと太陽電池作り
仁愛大学西出研	・自然豊かな里山での生き物観察会 ・人とコウノトリ、田んぼの生き物の関係を学ぶ学習会、意見交換会等
環境保全ボランティアサークル	・砂浜での桁網とたも網による魚等の採取体験 ・採取した魚等の観察調査体験
ひらめき☆理科ぶろっく	・奥越の大自然の中でのキャンプを通じた自然体験、ナイトウォーキング等 ・環境保全・食品ロスを考える野外炊爨、箸作り
Fukui play-studio 遊房	・休耕田を利用したどろんこ遊びプログラム ・休耕田に生息する虫の観察会

分野別施策の実施状況

(6) 「せせらぎ定点観測」事業

県内の小学生に身近な自然環境、特に河川に対する興味関心を高めてもらい、地域の自然環境の保全を目指す目的で、環境省において開発された「水辺のすこやかさ指標（みずしるべ）」を使い、地域の河川や用水路で水質や水生生物、景観などを調査し、河川環境の変化を確認する「せせらぎ定点観測」事業を行っています。

令和元年度は、県内の環境保全団体と協力し、夏休み期間に県内4か所の河川で調査活動を実施しました（他地区でも実施を予定していましたが、河川の増水等の理由により実施を見合わせました。）。

「せせらぎ定点観測」実施団体

- ・環境文化研究所
- ・ノーム自然環境教育事務所
- ・ハスプロジェクト推進協議会
- ・NPO法人森林楽校・森んこ

表 5-2-4 「せせらぎ定点観測」事業実施校および河川

地区	実施河川	実施日	参加人数
坂井	竹田川	7月27日	27名
南越	足羽川	7月25日	26名
二州	はす川	7月29日	13名
若狭	南川	7月30日	12名



せせらぎ定点観測の様子（はす川）

環境について自ら考え行動する人づくり